泰安丸

日本郵船「戦時船舶」より

泰安丸は、日本郵船が建造した戦時船舶で、太平洋戦争中に活躍しました。このページでは、泰安丸の特徴や歴史についての情報を提供しています。

泰安丸の建造 Porn 1942年、関門海峡での戦闘で異常な損傷を負ったため、日本郵船が建造した戦時船舶です。

泰安丸の役割 泰安丸は、太平洋戦争中、主に輸送船として使用されました。また、戦闘中に損傷を受けても深夜に対応したため、その迅速な反応が評価されました。

泰安丸の歴史 1942年、東京湾での戦闘で損傷を受けており、その後も戦闘に巻き込まれている間に、数多くのタスクを果たし、重要な役割を果たしました。

泰安丸の特徴 泰安丸は、その建造時期と用途から、太平洋戦争中の戦時船舶の特徴をもとに設計されていました。その特徴は以下のとおりです。

- 極端な重荷の下に、数多くのタスクを果たす能力
- 搭載した物資の多大な量
- 航路の狭隘な海域での作業

これらの特徴は、戦闘中の泰安丸の役割を反映しています。